



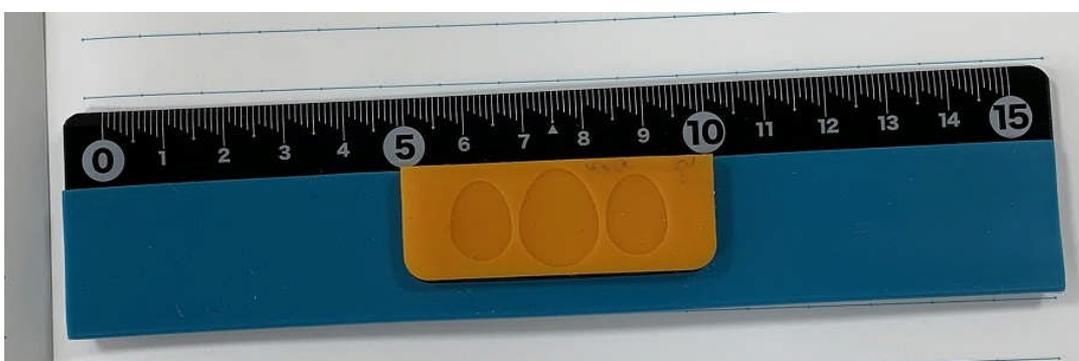
チューモくん日記 #文房具 ～定規編 2～

秋田県立視覚支援学校オリジナルキャラクターのチューモくんです。

「チューモくん日記」では、本校やその周辺のことについて語っていきます。

今回は、新しい定規を見つけたので紹介します。

静岡県立こども病院の専門作業療法士が監修して、株式会社ゴムQから発売された、「Qスケール15」という定規です。



使いやすくするために、たくさんの工夫があるようです。

- ・スケール部分が、白黒反転で見やすい。
- ・1ミリ単位の刻みが徐々に長くなっているの見やすい。
- ・端が斜めになっているので、カッターが使いやすい。
- ・シリコンラバーで覆われているので、黄色の部分のくぼみに指を当てて押さえると、ぴったり固定される。
- ・後ろも斜めにカットされているので、指を掛けて持ち上げやすい。



- ・黄色の部分を持ち上げると移動させやすくなります。

果たして、本当に使いやすいのか？

というわけで、職員室の中で何人かの職員で検討してみました。また、弱視の高等部生に数日間使ってもらって、感想をもらいました。

あくまでも、本校内の何人かの意見ですが、
<良かった点>

- ・スケール部分が白黒反転で見やすかった。
- ・端が斜めになっているので、弱視の児童生徒が顔を傾けて近付いて見ても、刻みの線と実際に測りたいポイントのずれが小さい。
- ・しっかり止まるので、線を引くときに安心だった。
- ・書見台の上に置いて手を放しても滑り落ちていかない。

<もう少しと思う点>

- ・見えにくいと、1回でねらった場所にセットできないこともあるため、滑りづらくて微調整できず、使い勝手が悪かった。
- ・商品解説の文字が小さくて読みづらかった。
- ・価格が約3,000円と高価。



「とても使い勝手が良くてほしい」という人もいましたが、価格がネックになったようです。少し高いものですので、使用感を確かめてから購入を検討したいという人は、チューモクんに声を掛けてください。以前紹介した文房具類も含めて、貸し出しすることが可能です。

以前も書きましたが、「これが絶対に一番」という定規はありません。自分が一番見やすい、使いやすいものを探して使ってください。